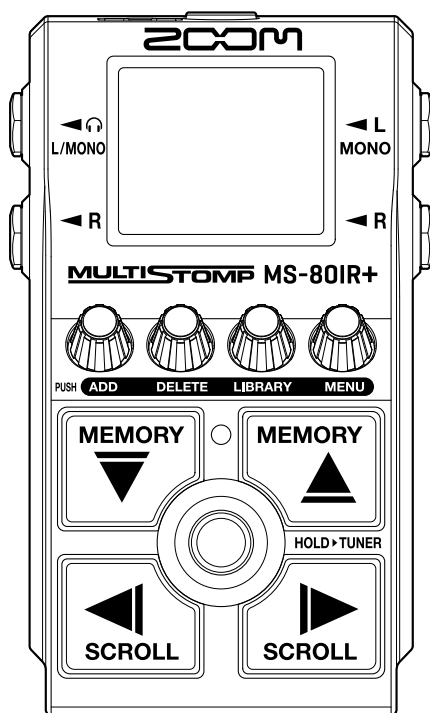


MS-80IR+

MULTISTOMP



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

©2024 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

白黒端末では正しく表示できません。

オペレーションマニュアルについて

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

- Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
- iPad、iPadOS、LightningおよびMacは、Apple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- IOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- USB Type-Cは、USB Implementers Forumの商標です。
- 文中のイラスト及び表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

用語について

パッチメモリー

使用エフェクト、エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定値を記録したものを“パッチメモリー”と呼び、簡単に呼び出すことができます。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。1つのパッチメモリーには最大1アンプモデル+1スタジオアンビエンス+1エフェクトが登録でき、80個まで保存できます。

LIBRARY

LIBRARYには各種ギターエフェクトが用意されています。パッチメモリーに登録するエフェクトは、LIBRARYの中から選択できます。

カテゴリ

エフェクトは種類ごとにカテゴリ分けされています。カテゴリに応じてディスプレイのバックライトの色が変わります。

オートセーブ

パッチメモリーやエフェクトの設定変更を自動的に保存する機能です。

ECO モード

操作をやめてから10時間経過したときに電源を自動的にオフする機能です。

プリセレクト

選択しているパッチメモリーの音色を保持したまま、離れた番号のパッチメモリーに切り替えることができる機能です。

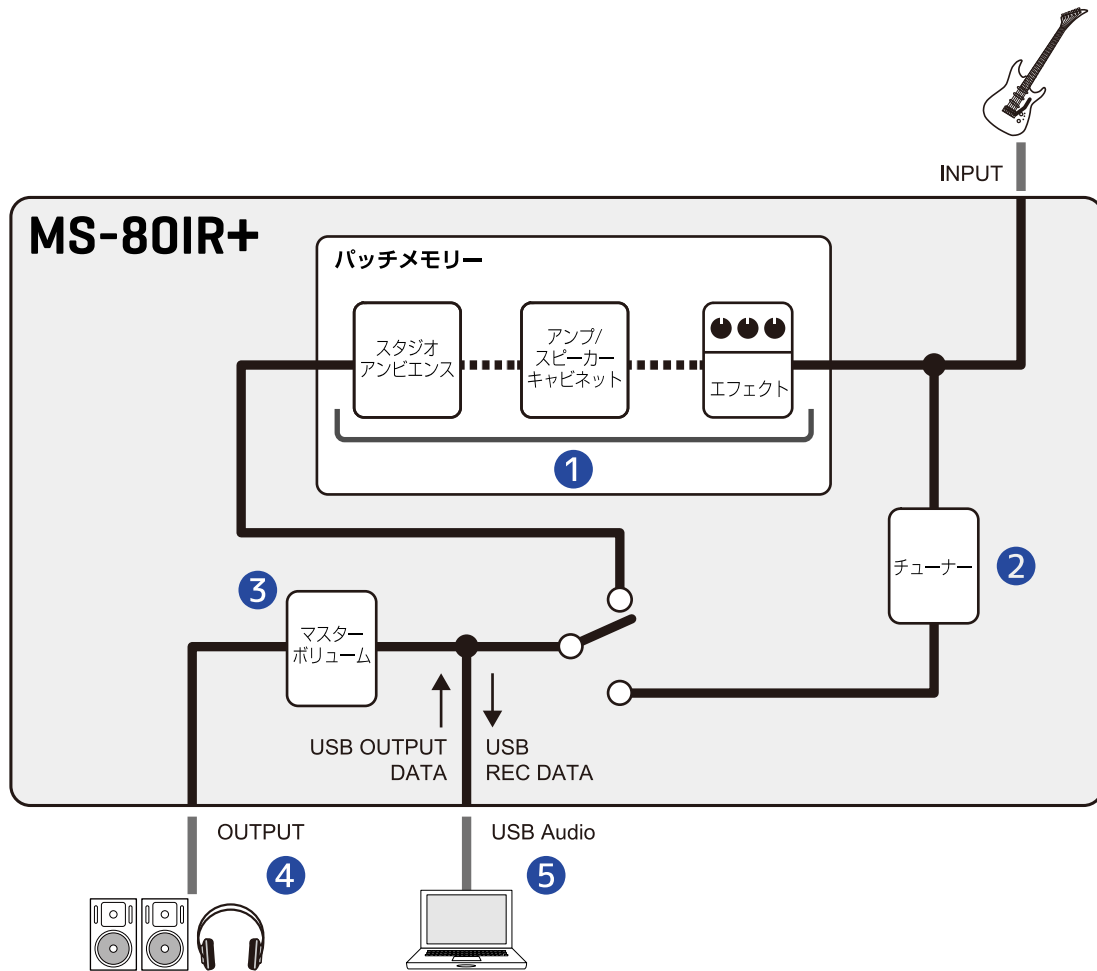
目次

オペレーションマニュアルについて.....	2
用語について.....	3
MS-80IR+の構成.....	6
信号の流れ.....	6
メモリーの概念（パッチメモリー）.....	7
各部の役割.....	8
フロントパネル.....	8
リアパネル.....	9
ディスプレイの表示について.....	10
ホーム画面.....	10
LIBRARY画面.....	11
MENU画面.....	12
接続する.....	15
電源をON/OFF する.....	16
電源を入れる.....	16
電源を切る.....	18
全体の出力レベルを調節する.....	19
エフェクトを調節する.....	20
エフェクトをON/OFF する.....	20
エフェクトを変更する.....	22
エフェクトのパラメーターを調節する.....	23
エフェクトを追加する.....	25
エフェクトを削除する.....	27
エフェクトの並び順を変更する.....	29
タップでテンポを変更する.....	31
テンポを変更する.....	33
Rチャンネル出力信号の取り出し位置を変更する.....	35
パッチメモリーを切り替える.....	37
プリセレクト機能を使う.....	38
プリセレクト機能をON/OFFする.....	38
プリセレクト機能をONにしたときのパッチメモリーの選択のしかた.....	40
パッチメモリーを管理する.....	41
パッチメモリーの名前を変更する.....	41
パッチメモリーをコピー／保存する.....	43
パッチメモリーを削除する.....	45
パッチメモリーを作成する.....	47
パッチメモリーの変更を元に戻す.....	49
チューナーを使用する.....	51
チューナーを有効にする.....	51
チューナーの設定を変更する.....	52

インパルス・レスポンス (IR) を使用する.....	56
インパルス・レスポンス (IR) データを読み込む.....	56
インパルス・レスポンス (IR) を使用する.....	56
オーディオインターフェース機能を使用する.....	58
ドライバをインストールする.....	58
パソコンまたはスマートフォン/タブレットと接続する.....	59
USB AUDIOでパソコンへ送る音量を調節する.....	60
USB AUDIOのモニターバランスを調節する.....	61
iPhone/iPadからMS-80IR+を操作する.....	62
本体の設定をする.....	64
オートセーブを設定する.....	64
LIBRARY画面での音を設定する.....	65
電池の種類を設定する.....	66
バックライトの明るさを調節する.....	67
ディスプレイのコントラストを調節する.....	68
ECO モードを設定する.....	69
USB MIDIを受信するチャンネルを設定する.....	70
ファームウェアを管理する.....	71
ファームウェアのバージョンを確認する.....	71
ファームウェアをアップデートする.....	71
工場出荷時の設定に戻す.....	72
MS-80IR+の最新情報を確認する.....	73
付録.....	74
故障かな？と思う前に.....	74
仕様.....	75
MIDIインプリメンテーションチャート.....	77

MS-80IR+の構成

信号の流れ

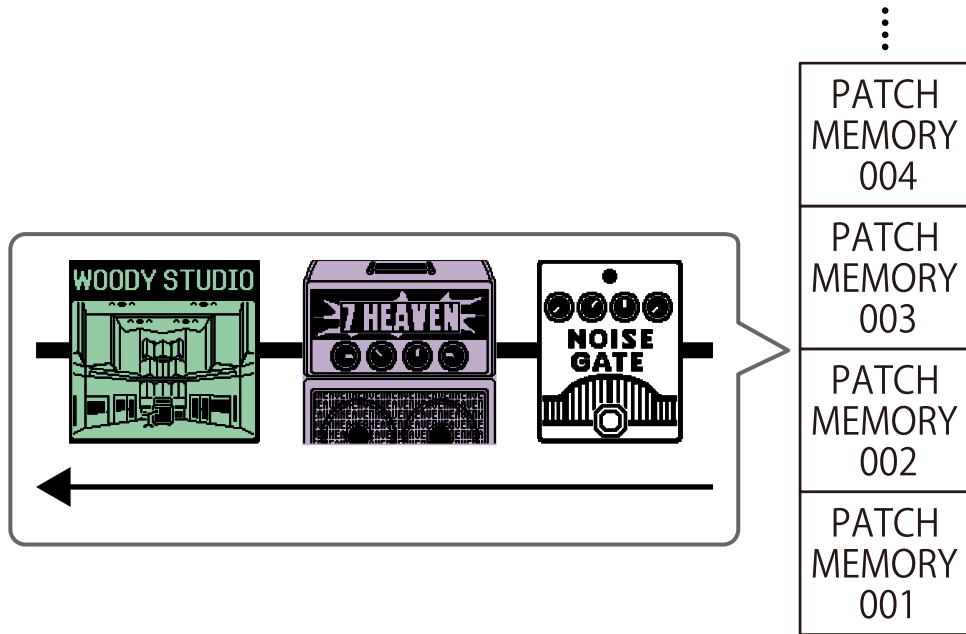


- 1 パッチメモリー**
入力されたギターの声は、エフェクトを順に経由します。(→[エフェクトのパラメーターを調節する](#))
- 2 チューナー**
接続したギターのチューニングを行います。(→[チューナーを使用する](#))
- 3 マスターボリューム**
全体の音量を調節します。パッチメモリーを切り替えても設定は保持されます。(→[全体の出力レベルを調節する](#))
- 4 OUTPUT**
パワーモニターまたはヘッドフォンを接続します。
- 5 USB AUDIO**
オーディオインターフェイス機能でパソコンやスマートフォンと音声データのやり取りができます。(→[オーディオインターフェイス機能を使用する](#))

メモリーの概念 (パッチメモリー)

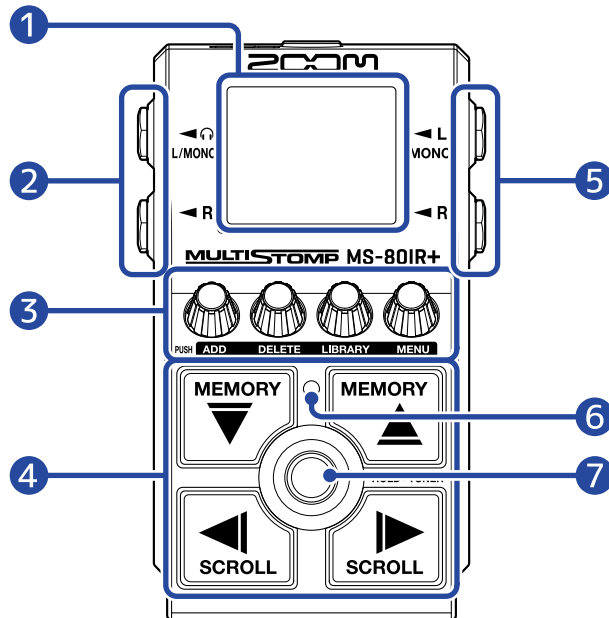
パッチメモリー

使用エフェクト、並び順、各エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定値を記録したものです。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行い、80個のパッチメモリーを記録することができます。



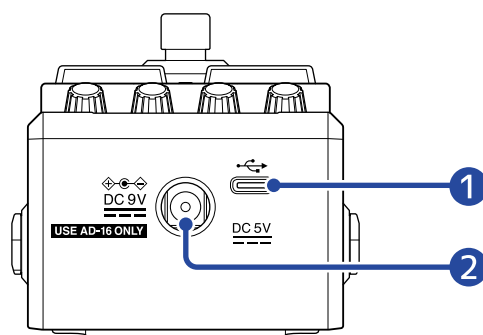
各部の役割

フロントパネル



- ① ディスプレイ**
選択中のエフェクトの名称、パラメーターの設定値などを表示します。
- ② 出力端子**
パワードモニターやヘッドフォンに接続します。
モノラルの場合は、MONOに接続します。
- ③ パラメーターノブ**
エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。
- ④ カーソルキー**
パッチメモリーやエフェクトなどの項目を選択します。
足でも操作できます。
- ⑤ 入力端子**
ギターや他のエフェクターに接続します。
- ⑥ ON/OFFインジケーター**
エフェクトのON/OFFを確認できます。
- ⑦ フットスイッチ**
エフェクトのON/OFFができます。

リアパネル



① USB (Type-C) 端子

パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して、オーディオインターフェースとして使用できます。また、Handy Guitar Labを使用すると、スマートフォン／タブレット上でパッチメモリの管理やエフェクトの編集・追加などができます。USBバスパワー動作に対応しています。

② DC9V AC アダプター端子

専用のACアダプター（ZOOM AD-16）を接続します。

ディスプレイの表示について





MS-80IR+の操作は、ディスプレイの表示を見ながらキーやノブを使って行います。
ここではディスプレイの表示について説明します。

ホーム画面

電源投入時に表示されます。



選択中のパッチメモリー内のエフェクトが表示され、パッチメモリーの編集やエフェクトのON/OFFを行います。



-  /  を押すと、パッチメモリーを選択できます。
-  /  を押すと、パッチメモリー内のエフェクトを選択できます。
選択中のエフェクトのカテゴリに応じてバックライトの色が変わります。

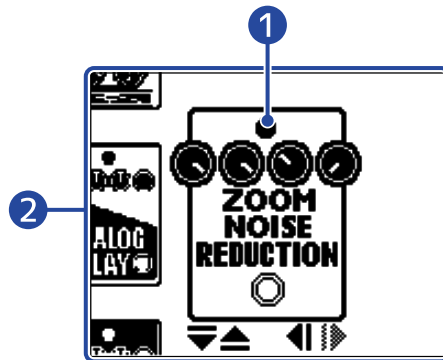


ホーム画面を表示させるには

- [MENU画面](#)表示中：  を押します。
- [LIBRARY画面](#)表示中：  を押して選択中のエフェクトを確定させます。

LIBRARY画面

パッチメモリーのエフェクトを変更できます。



1 選択中のエフェクト



選択中のエフェクトは、中央に大きく表示されます。

選択中のエフェクトのカテゴリに応じてバックライトの色が変わります。




2 エフェクトリスト

縦列に同じカテゴリのエフェクトが並んでいます。同じカテゴリのエフェクトを選択するには、


は、 /  を押します。

 /  を押すと、別のカテゴリのエフェクトを選択できます。

LIBRARY画面を表示させるには

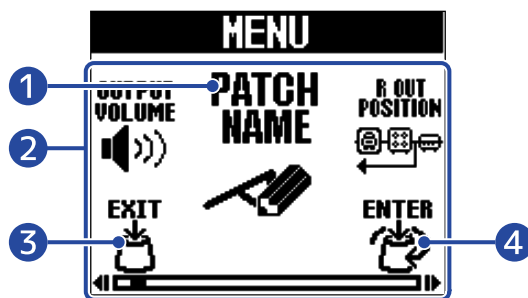
ホーム画面で  /  を押し、変更したいエフェクトを選択して、 を押します。

LIBRARY画面を終了させるには

 を押すと、選択中のエフェクトを確定して ホーム画面 を表示します。

MENU画面


MS-80IR+の各種設定を行います。



1 選択中の設定項目

選択されている設定項目は、中央に大きく表示されます。

2 設定項目

設定項目がアイコンで表示され、 を回して選択します。

3 EXIT



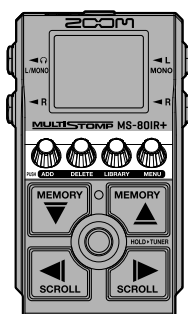
[ホーム画面](#)に戻ります。

4 ENTER

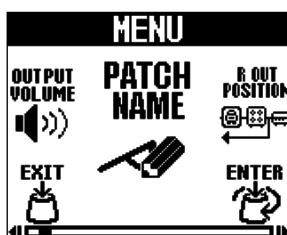


選択した設定項目を表示します。

MENU画面の操作



1. を押して、MENU画面を表示する



2. ENTER を回して、設定したい項目のアイコンを表示させる

各設定の詳細については、参照先をご覧ください。

OUTPUT VOLUME 	全体の出力レベルを調節します。 (→ 全体の出力レベルを調節する)	PATCH NAME 	パッチメモリーの名前を変更します。 (→ パッチメモリーの名前を変更する)
R OUT POSITION 	パッチメモリー内でのRチャンネル出力信号取り出し位置を変更します。 (→ Rチャンネル出力信号の取り出し位置を変更する)	MOVE EFFECT 	エフェクトの並び順を変更します。 (→ エフェクトの並び順を変更する)
BPM 	テンポを変更します。(→ テンポを変更する)	REVERT PATCH 	パッチメモリーの変更を元に戻します。 (→ パッチメモリーの変更を元に戻す)
COPY PATCH 	パッチメモリーをコピー／保存します。 (→ パッチメモリーをコピー／保存する)	NEW PATCH 	パッチメモリーを新たに作成します。 (→ パッチメモリーを作成する)
ERASE PATCH 	パッチメモリーを削除します。 (→ パッチメモリーを削除する)	AUTO SAVE 	オートセーブ機能のON/OFFを切り替えます。 (→ オートセーブを設定する)
PRE-SELECT 	プリセレクト機能のON/OFFを切り替えます。 (→ プリセレクト機能を使う)	LIBRARY SOUND 	LIBRARY画面での音を設定します。 (→ LIBRARY画面での音を設定する)
BATTERY TYPE 	電池の種類を設定します。(→ 電池の種類を設定する)	BACKLIGHT 	バックライトの明るさを調節します。 (→ バックライトの明るさを調節する)
CONTRAST 	ディスプレイのコントラストを調節します。 (→ ディスプレイのコントラストを調節する)	ECO MODE 	ECOモードのON/OFFを切り替えます。 (→ ECOモードを設定する)
USB MONITOR 	USB AUDIOのモニターバランスを調節します。 (→ USB AUDIOのモニターバランスを調節する)	USB REC GAIN 	USB AUDIOでパソコンなどに送る音量（録音レベル）を調節します。 (→ USB AUDIOでパソコンへ送る音量を調節する)
USB MIDI CH 	USB MIDIを受信するチャンネルを設定します。 (→ USB MIDIを受信するチャンネルを設定する)	FACTORY RESET 	工場出荷時の状態に戻します。(→ 工場出荷時の設定に戻す)

VERSION

ファームウェアのバージョンを確認します。
(→[ファームウェアのバージョンを確認する](#))

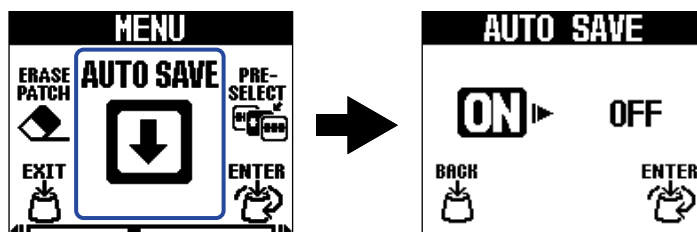
HELP

MS-80IR+の操作方法を確認するための2次元コードを表示します。
(→[MS-80IR+の最新情報を確認する](#))

3. を押す

選択した設定画面が表示されます。

(「AUTO SAVE」を選択したときの表示例)



4. を回して、設定を選択する

選択した項目がハイライトします。



5. を押す

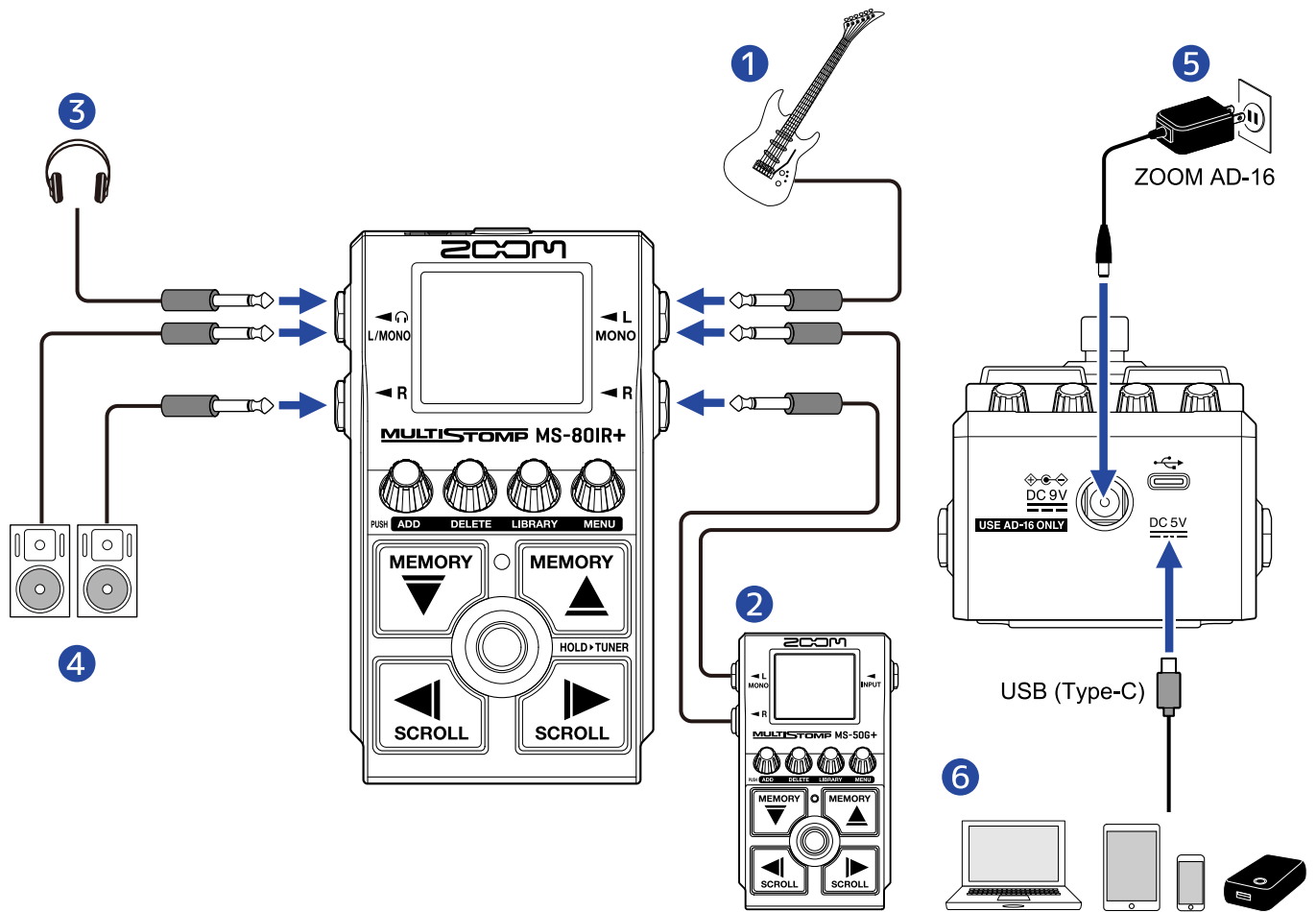
設定を確定します。

HINT

MENU画面操作中は、 を押すと [ホーム画面](#) または [MENU画面](#) に戻ります。

- 画面左下に が表示されているとき：[ホーム画面](#) に戻ります。
- 画面左下に が表示されているとき：[MENU画面](#) に戻ります。

接続する



- 1 ギター
- 2 エフェクター
- 3 ヘッドフォン
- 4 パワードモニター
- 5 ACアダプター (ZOOM AD-16)
- 6 パソコン (Mac/Windows) 、iPhone/iPad、モバイルバッテリー

USBケーブル (Type-C) で接続します。

MS-80IR+をオーディオインターフェースとして使用したり、Handy Guitar Lab for MS-80IR+やモバイルバッテリーを使用できます。

iOS/iPadOS用アプリケーション「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」を使用すると、パッチメモリー管理やエフェクトの編集・追加が可能です。「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」はApp Storeからダウンロードできます。

電源をON/OFF する

電源を入れる

1. パワードモニターの音量を最小にする

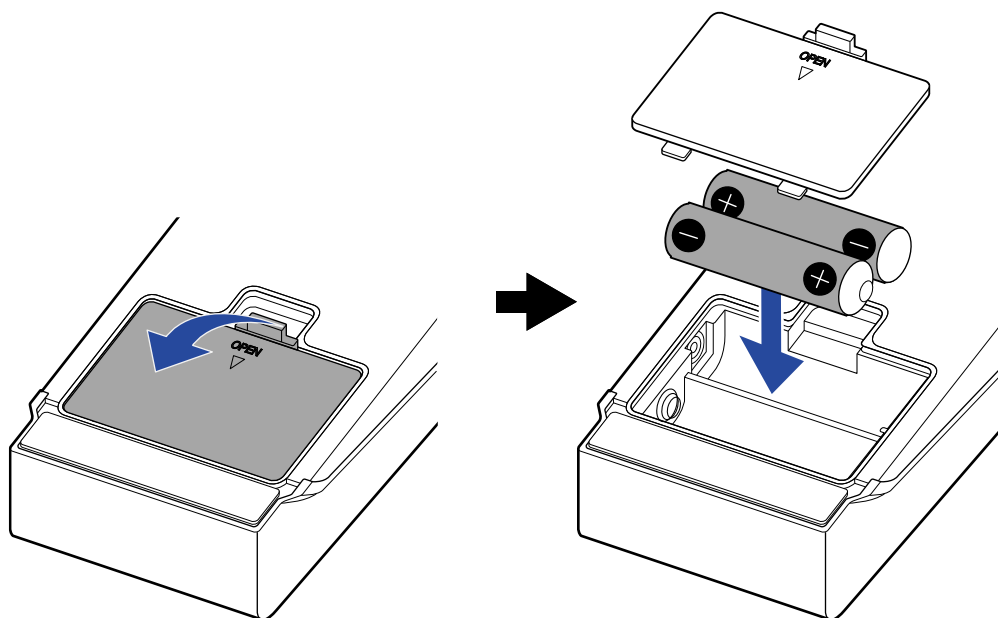
NOTE

ノイズの発生や故障を防ぐために、パワードモニターは接続が終わってから電源をオンにしてください。

2. 電源をセットする

■ 電池を使用する場合

底面のフタを開けて、電池ボックスに電池を入れてください。

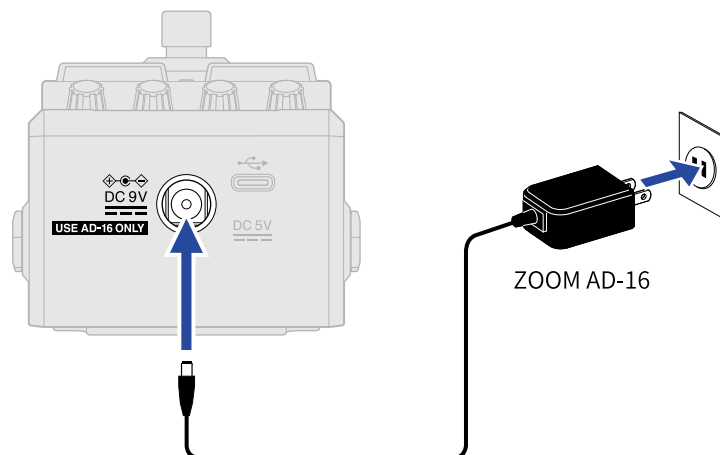


NOTE

- アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。 (→ [電池の種類を設定する](#))

■ ACアダプターを使用する場合

専用アダプター（ZOOM AD-16）を接続してください。



ACアダプターを接続すると、MS-80IR+の電源がONになります。

3. 入力端子にケーブルを接続する

電源が電池のときは、入力端子（L/MONO）にケーブルを接続すると電源がONになります。

MS-80IR+の電源がONになると、ディスプレイに[ホーム画面](#)が表示されます。



NOTE

入力端子のRだけにケーブルを接続した場合、電源は入りません。L/MONOにケーブルが接続されていることをご確認ください。

4. パワードモニターの音量を上げる

ECO モードについて

- 初期設定ではECOモードが「ON」に設定されており、操作が行われなまま10時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
- ECOモードは、「OFF」にすることもできます。（→[ECOモードを設定する](#)）

電源を切る

1. パワード 모니터の音量を最小にする

2. 入力端子のケーブルを抜く

■ 電池を使用している場合

入力端子（L/MONO）のケーブルを抜くと、ディスプレイの表示が消え、電源がOFFになります。

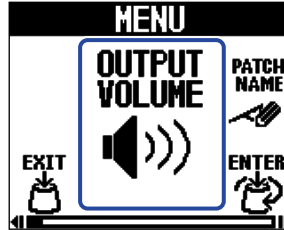
■ ACアダプターを使用している場合

ACアダプターを外すと、ディスプレイの表示が消え、電源がOFFになります。

全体の出力レベルを調節する

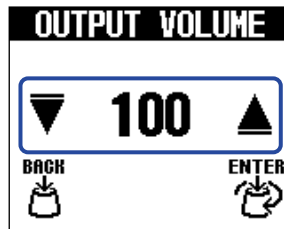
MS-80IR+の出力音の音量を調節できます。

1. MENU画面で「OUTPUT VOLUME」を選択する



2. **ENTER** を回して、音量を調節する

設定値はディスプレイに表示されます。



3. **ENTER** を押す

設定を確定します。

4. **EXIT** を押す

ホーム画面に戻ります。

エフェクトを調節する

エフェクトの変更やパラメーター調節など、パッチメモリーの編集を行うことができます。

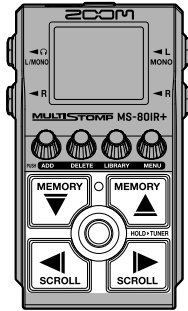
変更内容の保存について



- オートセーブ機能をONにすると、パッチメモリーの変更内容は自動的に保存されます（初期設定はONです）。（→ [オートセーブを設定する](#)）
- オートセーブ機能をOFFにした場合は、パッチメモリーは自動で保存されません。パッチメモリーの内容を変更すると、ディスプレイ右上に **EDITED** が表示され保存されている設定から変わったことを示します。必要に応じて保存してください。（→ [パッチメモリーをコピー／保存する](#)）





エフェクトをON/OFF する

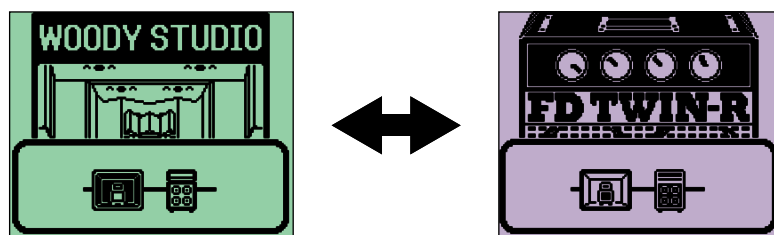
[ホーム画面](#)ではパッチメモリーで使用しているエフェクトがディスプレイに表示され、フットスイッチでお好みのエフェクトをON/OFFすることができます。




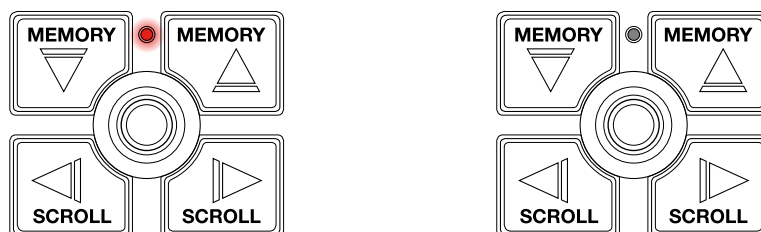
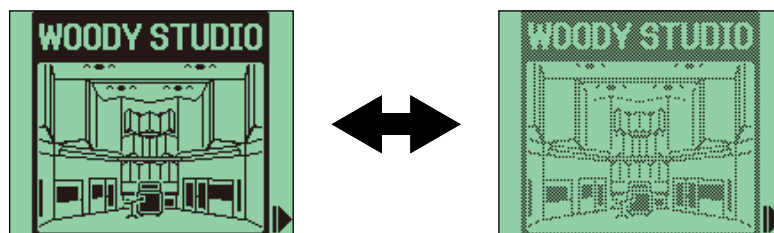
1. [ホーム画面](#)で  /  を押して、エフェクトをON/OFFしたいパッチメモリーを選択する（→ [パッチメモリーを切り替える](#)）

2.  /  を押して、ON/OFFしたいエフェクトを選択する

ディスプレイにはパッチメモリー内の1つのエフェクトが表示されます。



3.  を押して、エフェクトをON/OFFする

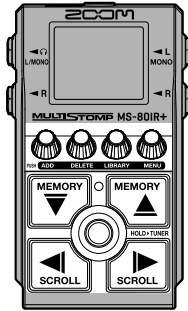




エフェクトON時はON/OFFインジケーターが点灯します。



エフェクトをOFFにするとON/OFFインジケーターが消灯し、ディスプレイのエフェクトアイコンが薄く表示されます。

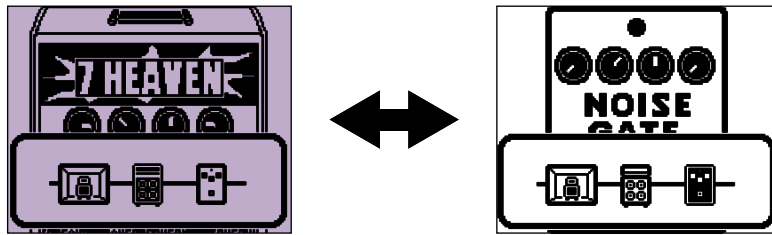
エフェクトを変更する

パッチメモリのエフェクトをお好みのエフェクトに変更します。



1. ホーム画面で  /  を押して、エフェクトを変更したいパッチメモリを選択する (→[パッチメモリを切り替える](#))

2.  /  を押して、変更したいエフェクトを選択する

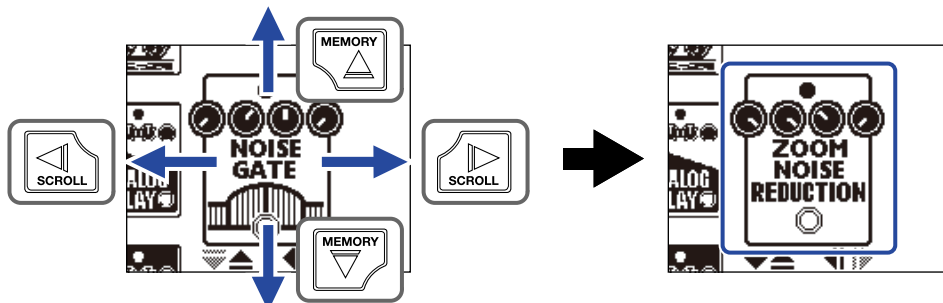


3.  を押す


エフェクトの一覧 ([LIBRARY画面](#)) が表示されます。

LIBRARY画面表示中は、「選択しているエフェクトの音のみ」または「パッチメモリ全体の音」を切り替えて確認することができます。 (→[LIBRARY画面での音を設定する](#))

4.  /  /  /  を押して、エフェクトを選択する



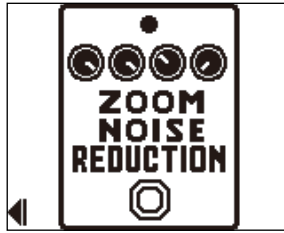
HINT

 を回すとエフェクト調節画面が表示され、選択中のエフェクトのパラメーターを調節することができます。


(→[エフェクトのパラメーターを調節する](#))

5. を押す

選択したエフェクトに変更され、[ホーム画面](#)に戻ります。

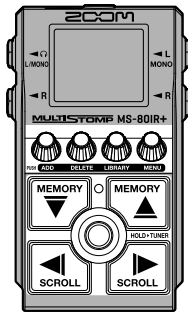




NOTE



- 専用アプリ Handy Guitar Lab for MS-80IR+ で削除されたエフェクトは、 と表示され無効になります。
- AMP カテゴリのエフェクト、STUDIO カテゴリのエフェクト、その他のエフェクトを、それぞれ1つのパッチメモリー中に1つずつ選択できます。

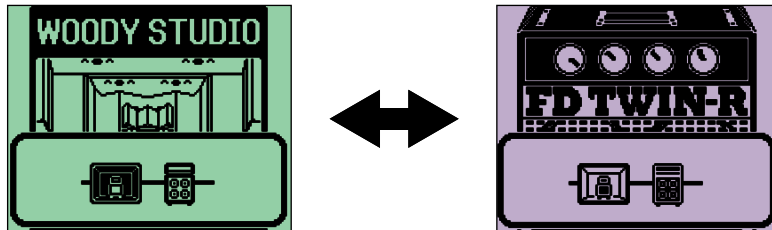
エフェクトのパラメーターを調節する

パッチメモリーで使用している各エフェクトの調節を行います。



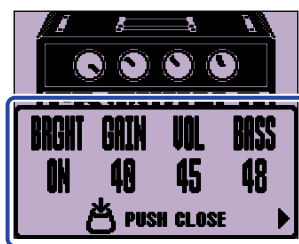
1. [ホーム画面](#)で  /  を押して、エフェクトを変更したいパッチメモリーを選択する (→ [パッチメモリーを切り替える](#))

2.  /  を押して、パラメーターを調節したいエフェクトを選択する

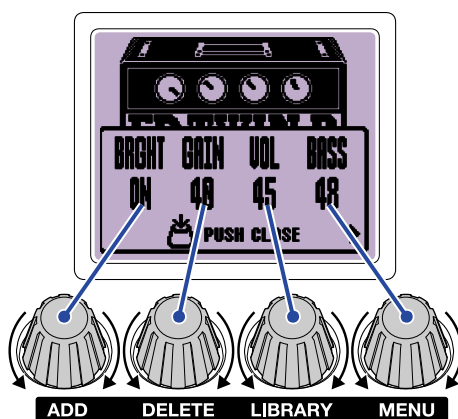



3. を回す

選択したエフェクトのパラメーター調節画面が表示されます。





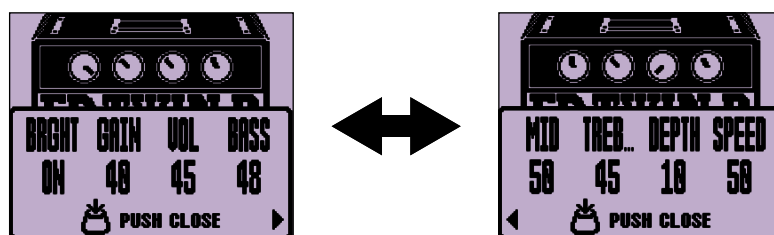
4. を回してエフェクトのパラメーターを調節する



 を押すと、元の画面に戻ります。

パラメーターが複数ページあるときは、画面下部に ◀ / ▶ が表示されます。

 /  を押して、調節するパラメーターを表示します。



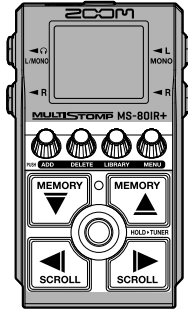
HINT



TIMEやSPEEDなどのエフェクトパラメーターで音符マークを選択すると、テンポに同期させることができます。(→[タップでテンポを変更する](#))



エフェクトを追加する

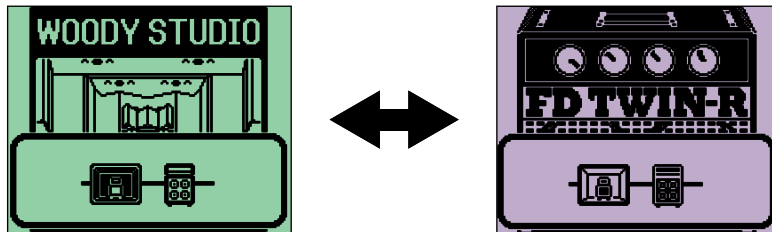
パッチメモリーにエフェクトを追加します。


MS-80IR+では1アンプモデル+1スタジオアンビエンス+1エフェクトを自由に組み合わせることができます。

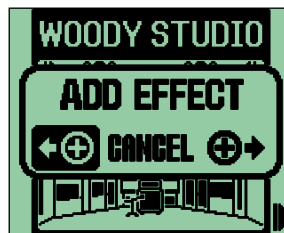




1. ホーム画面で  /  を押して、エフェクトを追加したいパッチメモリーを選択する (→ [パッチメモリーを切り替える](#))

2.  /  を押して、エフェクトを追加する場所を選択する
表示されているエフェクトの左（後）または右（前）にエフェクトが追加されます。

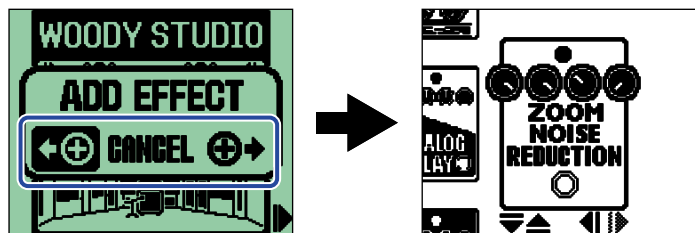



3.  を押す
ADD EFFECT画面が表示されます。



4.  を回して左右どちらに追加するかを選択し、 を押す


エフェクトの一覧 ([LIBRARY画面](#)) が表示されます。追加するエフェクトを選択してください。 (→[エフェクトを変更する](#))

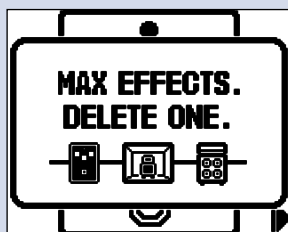


エフェクトの追加をキャンセルする場合は、ADD EFFECT画面で を回して「CANCEL」を選択

し、 を押します。

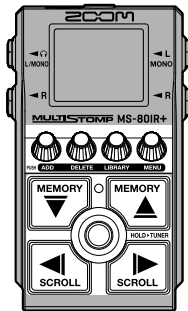
NOTE



- パッチメモリー内に3つのエフェクトが登録されているときに を押すと、以下の画面が表示されエフェクトを追加することができません。その場合は、パッチメモリー内のエフェクトを削除してください。 (→[エフェクトを削除する](#))



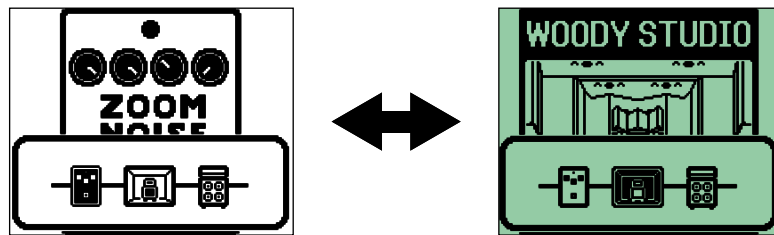
エフェクトを削除する

パッチメモリー内のエフェクトを削除します。



1. ホーム画面で  /  を押して、エフェクトを削除したいパッチメモリーを選択する (→[パッチメモリーを切り替える](#))

2.  /  を押して、削除するエフェクトを選択する



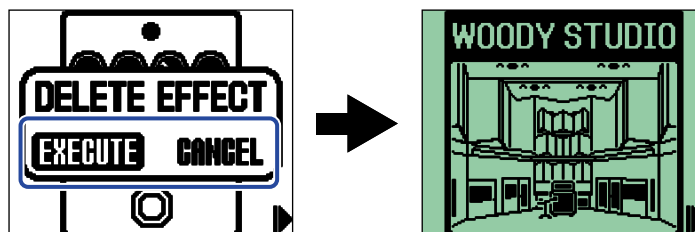
3.  を押す

DELETE EFFECT画面が表示されます。




4.  を回して「EXECUTE」を選択し、 を押す

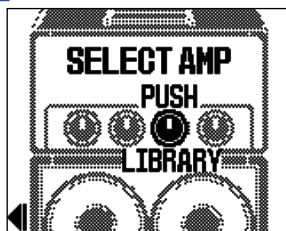
選択中のエフェクトがパッチメモリーから削除され、削除したエフェクトの左側のエフェクトが表示されます。



エフェクトの削除をキャンセルする場合は、 を回して「CANCEL」を選択し、 を押します。

HINT

AMPカテゴリのエフェクトを削除すると、SELECT AMP画面が表示されますので  を押してエフェクトを選択してください。 (→[エフェクトを変更する](#))

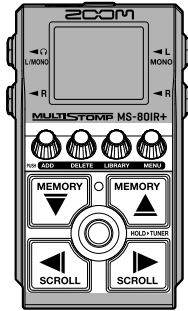


NOTE

STUDIOカテゴリのエフェクトは削除できません。

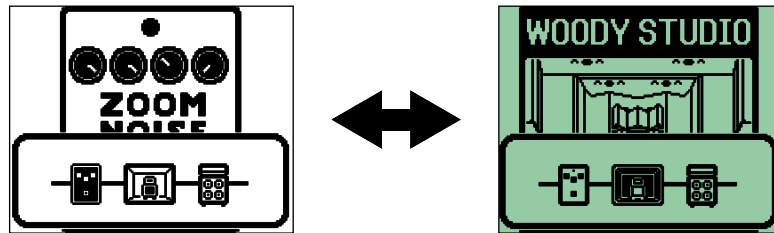
エフェクトの並び順を変更する

パッチメモリーのエフェクトをお好みの並び順に変更します。

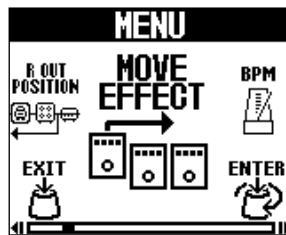


1. ホーム画面で / を押して、エフェクトの並び順を変更したいパッチメモリーを選択する
(→ [パッチメモリーを切り替える](#))

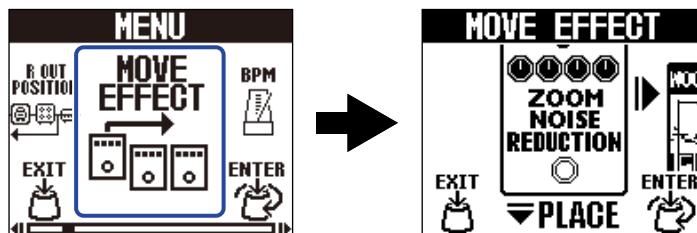
2. / を押して、並べ変えるエフェクトを選択する




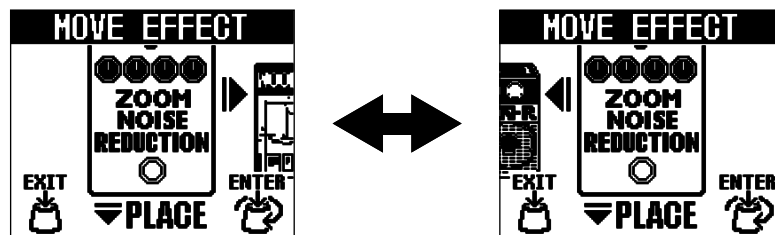
3. を押して、[MENU画面](#)を表示する



4. を回して「MOVE EFFECT」を選択し、 を押す
MOVE EFFECT画面が表示されます。



5. **ENTER**  を回して、エフェクトをお好みの位置に移動する

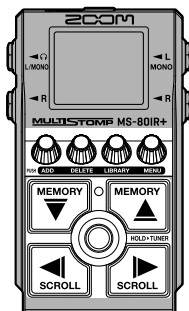


6. **ENTER**  を押す

並べ替えが確定し、[ホーム画面](#)に戻ります。

タップでテンポを変更する

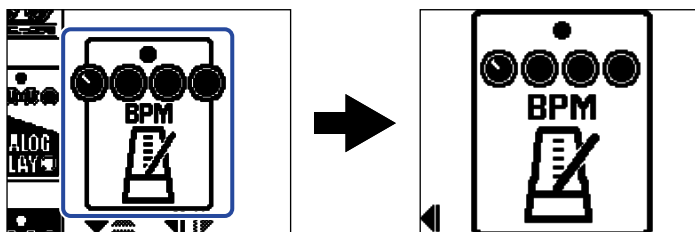
アンプに搭載されたトレモロなどのテンポ同期に使用するBPMをパッチメモリーごとに設定できます。



1. ホーム画面で / を押して、テンポを変更したいパッチメモリーを選択する (→[パッチメモリーを切り替える](#))

2. を押して [LIBRARY画面](#) を表示し、 / / / を押してBPMモジュールを選択し、 を押す (→[エフェクトを追加する](#))

BPMモジュールは [LIBRARY画面](#) のTOOLカテゴリ (白) にあります。
BPMモジュールがパッチメモリーに追加されます。

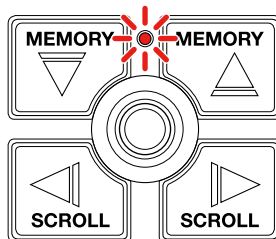


NOTE

パッチメモリー内に3つのエフェクトが登録されているときは、BPMモジュールを追加することができません。その場合は、パッチメモリー内のエフェクトを削除してください。 (→[エフェクトを削除する](#))

3. を押す


を押した間隔でテンポを設定することができます。 (タップテンポ)

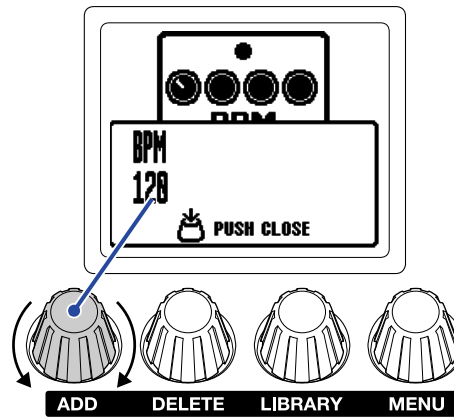



設定したテンポの間隔でインジケーターが点滅します。

パッチメモリーにBPMモジュールを追加すると、以降はBPMモジュールを選択することによってパッチメモリーのテンポを変更することができます。

HINT

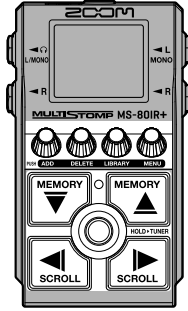
- テンポは♩=40～250の間で設定できます。
-  を回すとテンポ調節画面が表示され、テンポを数値で設定することができます。





 を押すと、元の画面に戻ります。

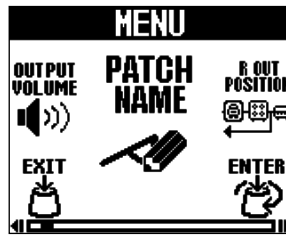
テンポを変更する



テンポをMENUから変更することもできます。

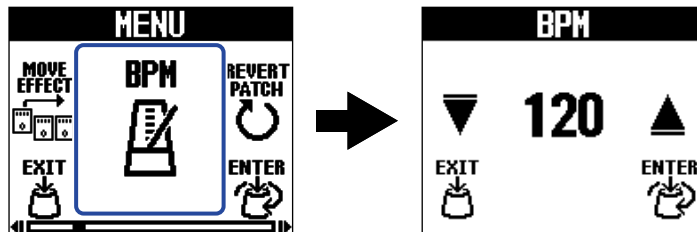



1. ホーム画面で  /  を押し、テンポを変更したいパッチメモリーを選択する (→ [パッチメモリー](#) を切り替える)

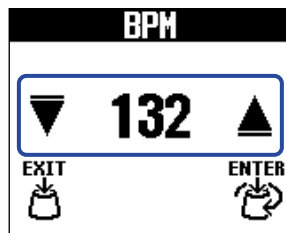
2.  を押し、[MENU画面](#)を表示する



3.  を回して「BPM」を選択し、 を押す
BPM画面が表示されます。



4.  を回して、テンポを設定する



5. **ENTER** を押す

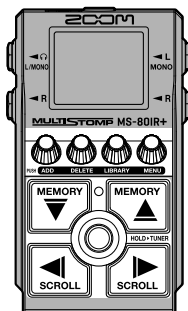
ホーム画面に戻ります。



HINT

ここで調節したテンポはパッチメモリー内のBPMモジュールで調節するテンポと連動し、パッチメモリー内の各エフェクトと共有されます。

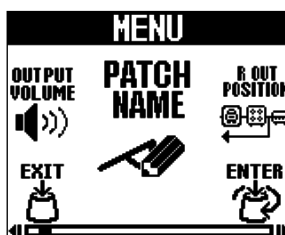
Rチャンネル出力信号の取り出し位置を変更する

Rチャンネル出力信号の取り出し位置をパッチメモリーごとに設定できます。

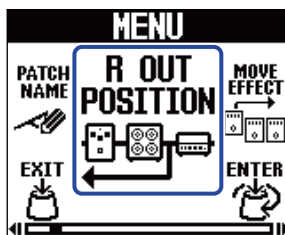



1. ホーム画面で  /  を押し、Rチャンネル出力信号の取り出し位置を変更したいパッチメモリーを選択する (→[パッチメモリーを切り替える](#))

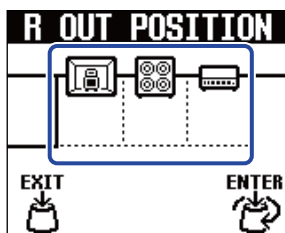
2.  を押し、[MENU画面](#)を表示する



3. [MENU画面](#)で「R OUT POSITION」を選択し、 を押す



4.  を回して、設定を切り替える



5. ENTER を押す

設定を確定して、ホーム画面に戻ります。

HINT

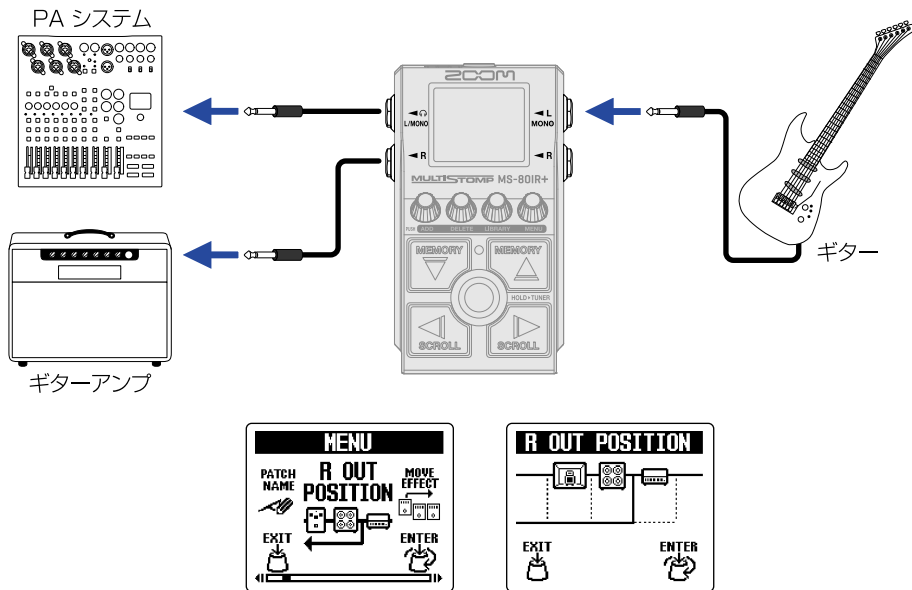
- 最後以外を選択している場合、エフェクトを選択した時などに信号の取り出し位置が表示されます。



- AMPのヘッドとキャビネットの間も選択できます。

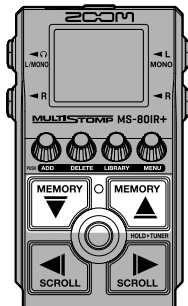
R OUT POSITION の有効活用

ライブステージなどでMS-80IR+を使用する際、PAシステムとギターアンプに適した音を別々に出力できます。PAシステムには、キャビネットシミュレーターやエフェクト処理された音を出力端子（L）から出力して、ギターアンプには、アンプヘッドのモデリングのみ処理した音を出力端子（R）から出力します。



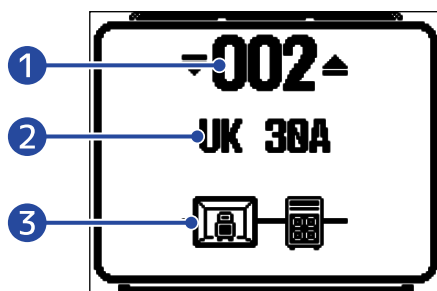
パッチメモリーを切り替える

MS-80IR+は、エフェクトをパッチメモリーで管理します。1つのパッチメモリーには最大1アンプモデル+1スタジオアンビエンス+1エフェクトを登録して、それぞれのON/OFFやパラメーターの設定を保存できます。



1. ホーム画面で / を押して、パッチメモリーを選択する

パッチメモリーを選択すると、選択したパッチメモリーの情報が一定時間表示されます。



① パッチメモリー番号

選択中のパッチメモリーの番号が表示されます。

② パッチメモリー名

選択中のパッチメモリー名が表示されます。

③ パッチメモリー内のエフェクトの数




選択中のパッチメモリーに登録されているエフェクトの数を表示します。

HINT

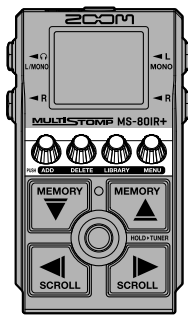
- パッチメモリーは最大で80個まで作成できます。
- MS-80IR+はプリセレクト機能が使用できます。あらかじめ次に選択するパッチメモリーを選択しておいてワンタッチで切り替えることができ、ライブ演奏中など離れたところにあるパッチメモリーに切り替えたいときに便利です。 (→[プリセレクト機能を使う](#))

プリセレクト機能を使う

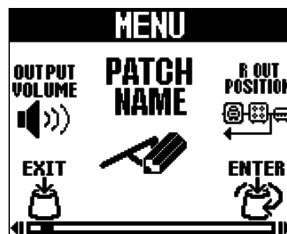
MS-80IR+ではプリセレクト機能が使用できます。

プリセレクト機能をONにすると、 /  を押してパッチメモリーを切り替えたときに変更のスタンバイ状態になり、それから  を押すことでパッチメモリーの変更が確定します。離れたパッチメモリーを直接選択することができ、ライブ演奏時に便利です。

プリセレクト機能をON/OFFする

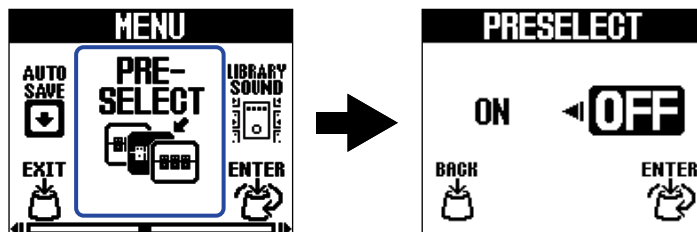



1.  を押して、MENU画面を表示する

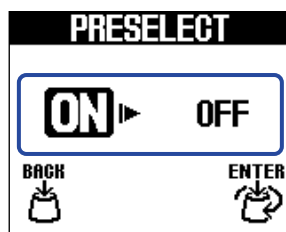


2.  を回して「PRESELECT」を選択し、 を押す

PRESELECT画面が表示されます。



3.  を回して、ON/OFF を切り換える



設定	説明
ON	プリセレクト機能をONにします。
OFF	プリセレクト機能をOFFにします。

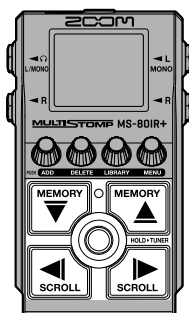
4.  を押す



設定を確定します。

5.  を押す

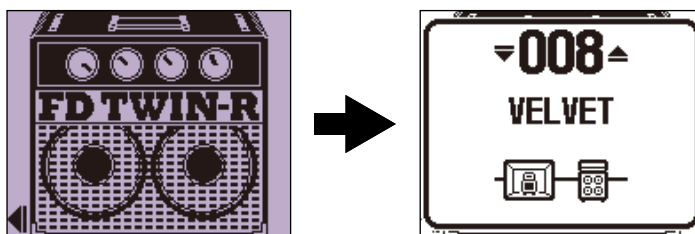
[ホーム画面](#)に戻ります。

プリセレクト機能をONにしたときのパッチメモリの選択のしかた

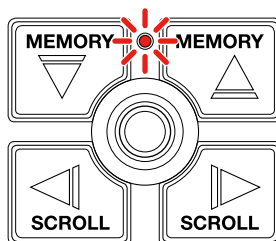



1. ホーム画面で  /  を押して、次に選択するパッチメモリーを表示する

例：パッチメモリー「001」を演奏中に、「008」を選択した場合



ON/OFFインジケーターが点滅します。



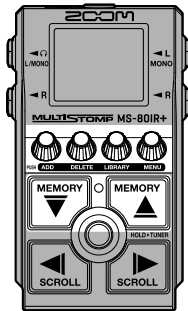
2.  を押して選択を確定する



選択したパッチメモリーのエフェクトが表示されます。



パッチメモリーを管理する



パッチメモリーの名前を変更する

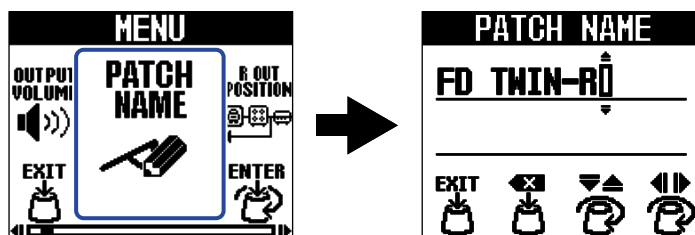



1. ホーム画面で  /  を押して、名前を変更したいパッチメモリーを選択する (→[パッチメモリーを切り替える](#))

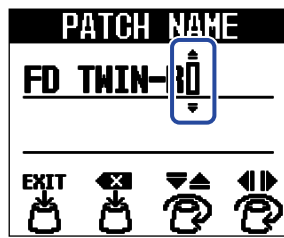
2.  を押して、[MENU画面](#)を表示する




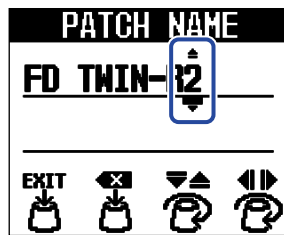
3.  を回して「PATCH NAME」を選択し、 を押す
PATCH NAME画面が表示されます。






4.  を回して、カーソルを移動する



5.  を回して、文字を挿入する



-  を押すと、カーソルの前の文字を削除できます。
-  を長押しすると、すべての文字を削除できます。

6.  を押す

名前を確定して、[ホーム画面](#)に戻ります。

HINT

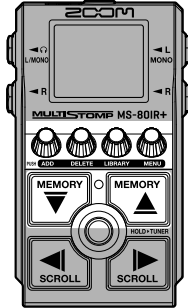
使用可能な文字／記号は次の通りです。

!%&' +, - . = _ (space) A-Z, a-z, 0-9

パッチメモリーをコピー／保存する



オートセーブ機能がOFFのときは（初期設定はON）、エフェクト調節や音量設定などの変更は自動で保存されません。その場合は手動で保存します。

パッチメモリーを他の場所に保存（コピー）することもできます。

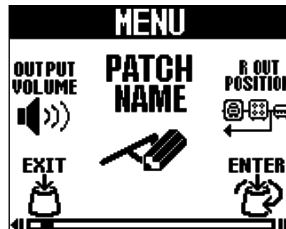


HINT

オートセーブ機能について詳しくは、「[オートセーブを設定する](#)」を参照してください。

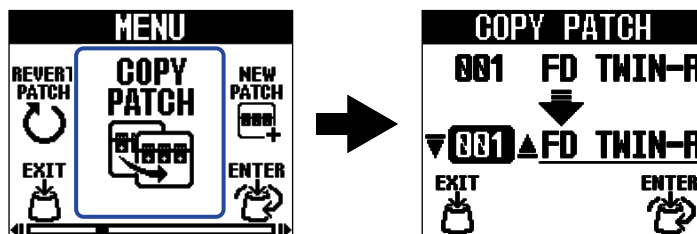
1. ホーム画面で  /  を押して、コピー／保存したいパッチメモリーを選択する（→[パッチメモリーを切り替える](#)）

2.  を押して、[MENU画面](#)を表示する

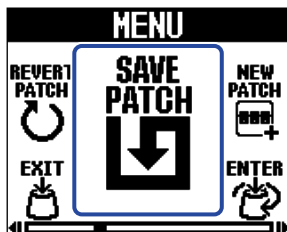




3.  を回して「COPY PATCH」を選択し、 を押す

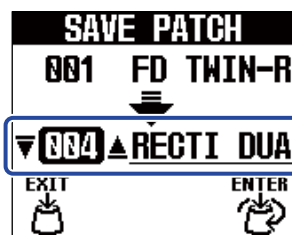
COPY PATCH画面が表示されます。



オートセーブ機能（→[オートセーブを設定する](#)）がOFFのときは、「COPY PATCH」の代わりに「SAVE PATCH」が表示されますので、「SAVE PATCH」を選択してください。

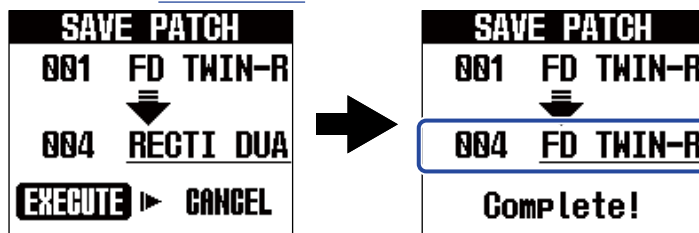




4.  を回してコピー／保存先のパッチメモリーを選択し、 を押す
「Empty」と表示されているパッチメモリーは、空きのパッチメモリーです。



5.  を押す

パッチメモリーがコピー／保存され、[ホーム画面](#)に戻ります。



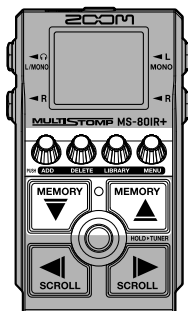
コピー／保存をキャンセルする場合は、 を回して「CANCEL」を選択し、 を押します。



HINT

オートセーブ機能をOFFにした場合はパッチメモリーは自動で保存されません。（→[オートセーブを設定する](#)）

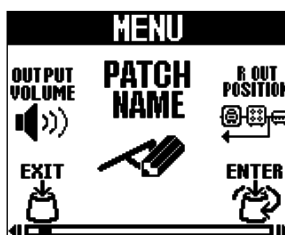
パッチメモリーを削除する



不要なパッチメモリーを削除します。

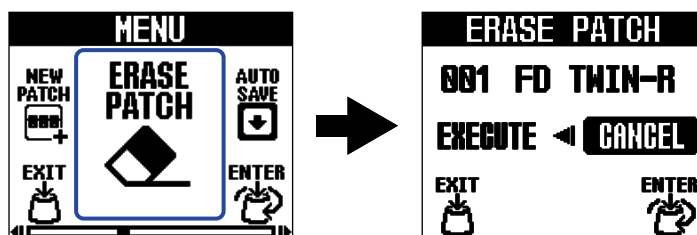


1. ホーム画面で  /  を押して、削除したいパッチメモリーを選択する (→[パッチメモリーを切り替える](#))

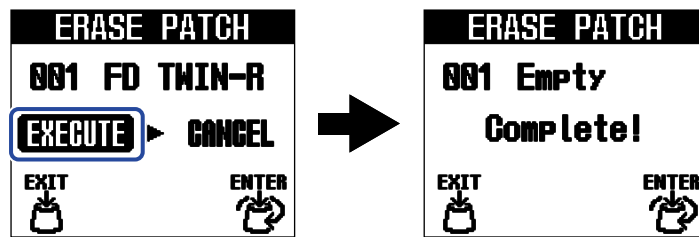
2.  を押して、[MENU画面](#)を表示する





3.  を回して「ERASE PATCH」を選択し、 を押す
ERASE PATCH画面が表示されます。



4.  を回して「EXECUTE」を選択し、 を押す

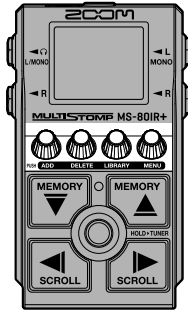


削除したパッチメモリーは空きとなり、「Empty」と表示されます。



削除をキャンセルする場合は、 を回して「CANCEL」を選択し、 を押します。

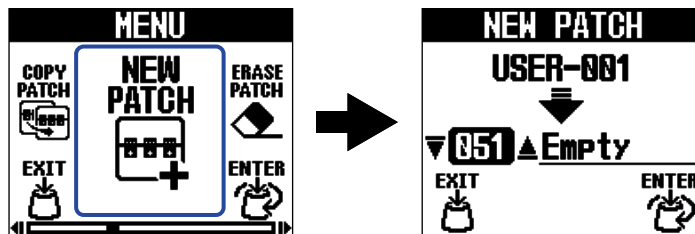
パッチメモリーを作成する



パッチメモリーを新たに作成します。



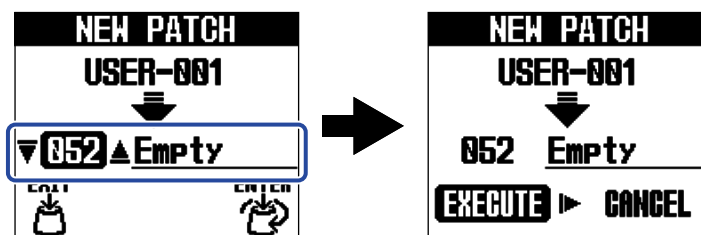
1.  を押して、MENU画面 を表示する

2.  を回して「NEW PATCH」を選択し、 を押す
NEW PATCH画面が表示されます。



3.  を回して作成先を選択し、 を押す

「Empty」と表示されているパッチメモリーは、空きのパッチメモリーです。





4. を押す

新しくパッチメモリーが作成され、SELECT AMP画面が表示されます。



「[エフェクトを変更する](#)」でエフェクトを割り当てて、パッチメモリーを編集します。

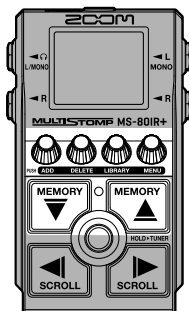
作成をキャンセルする場合は、 を回して「CANCEL」を選択し、 を押します。

NOTE



パッチメモリーは80個保存することができます。空きがない場合はNEW PATCH画面が表示されません。不要なパッチメモリーを削除してから操作を行ってください。（→[パッチメモリーを削除する](#)）

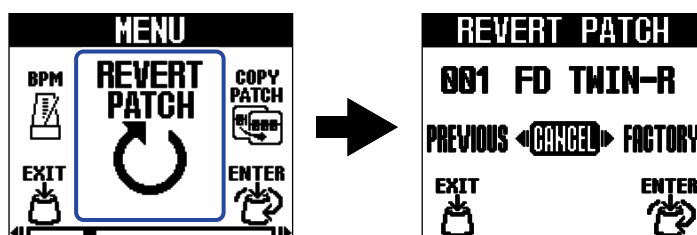
パッチメモリーの変更を元に戻す


パッチメモリーの変更を、パッチメモリー選択直後の状態または工場出荷状態に戻します。

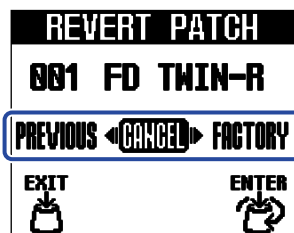


1.  を押して、MENU画面 を表示する

2.  を回して「REVERT PATCH」を選択し、 を押す
REVERT PATCH画面が表示されます。



3.  を回して、どの状態にするか選択する





設定	説明
PREVIOUS	パッチメモリーを選択直後の状態に戻します。
FACTORY	パッチメモリーを工場出荷状態に戻します。

4. **ENTER**  を押す



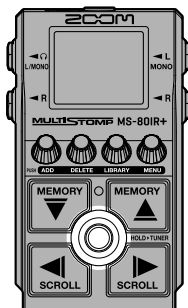
パッチメモリーを手順3で選択した状態に戻して、[ホーム画面](#)に戻ります。

操作をキャンセルする場合は、**ENTER**  を回して「CANCEL」を選択し、**ENTER**  を押します。

チューナーを使用する

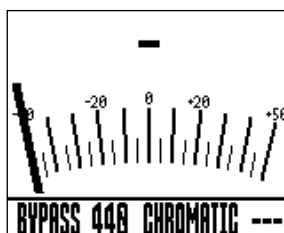
チューナーを有効にする

チューナーを有効にしてMS-80IR+でギターをチューニングします。



1. を長押しする

チューナーが有効になりディスプレイにチューナー画面が表示されます。




2. チューニングしたい弦を開放で弾き、ピッチを調整する



- 最寄りの音名とピッチのズレが表示されます。
- ピッチが合うと、左右のインジケータが表示され、ディスプレイのバックライトが緑に変わります。


チューナーを終了するには

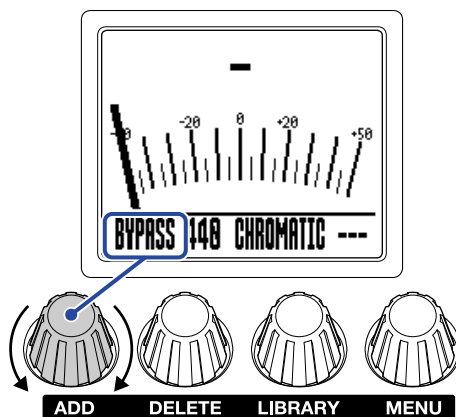
チューナー使用中に  を押すと、チューナーを終了して元の画面が表示されます。

チューナーの設定を変更する

チューナーのや基準ピッチやタイプを変更したり、フラットチューニングの設定をすることができます。

出力方法を設定する

 を回して出力方法を設定します。




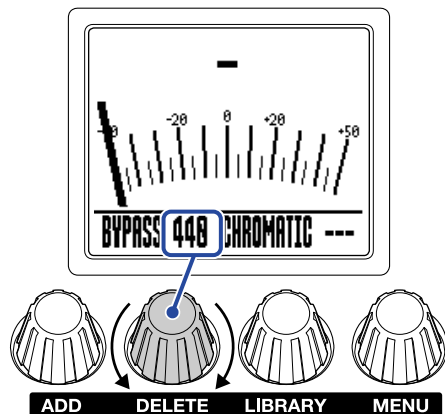
設定	説明
BYPASS	エフェクトをバイパスしたギターのを出力します。
MUTE	ギターのを出力しません。

HINT

ギターアンプなどのEQや音量は、MS-80IR+のエフェクトをバイパスすると調節しやすくなります。

チューナーの基準ピッチを変更する


 を回して基準ピッチを変更します。
DELETE

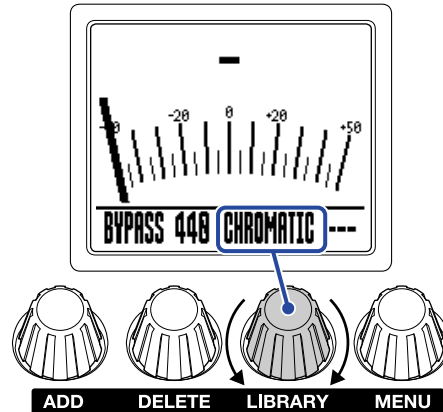


HINT

設定範囲は中央A=430 ~ 450 Hz です。

チューナータイプを選択する

 を回してチューナータイプを選択します。



設定	説明
CHROMATIC	最寄りの音名（半音単位）を基準にしてズレを表示します。
その他のチューナータイプ	選択したタイプに応じて最寄りの弦番号を表示し、本来合わせるべきピッチからどの程度ずれているかを表示します。選択できる種類は次の表の通りです。

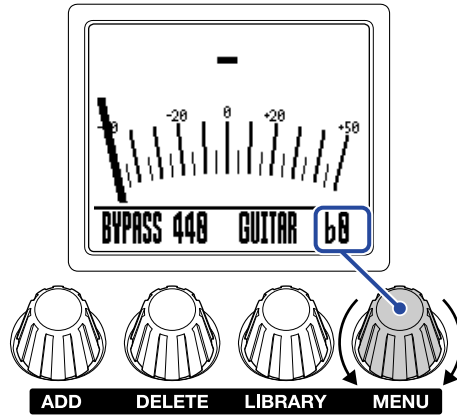
表示	解説	弦番号／音名						
		7	6	5	4	3	2	1
GUITAR	7弦ギターにも対応するギターの標準チューニング	B	E	A	D	G	B	E
OPEN A	開放弦を鳴らすとAのコードになるオープンAチューニング	-	E	A	E	A	C#	E
OPEN D	開放弦を鳴らすとDのコードになるオープンDチューニング	-	D	A	D	F#	A	D
OPEN E	開放弦を鳴らすとEのコードになるオープンEチューニング	-	E	B	E	G#	B	E
OPEN G	開放弦を鳴らすとGのコードになるオープンGチューニング	-	D	G	D	G	B	D
DADGAD	タッピング奏法などでよく使われる変則チューニング	-	D	A	D	G	A	D

フラットチューニングを使用する

すべての弦を通常のチューニングよりも半音（ $\flat 1$ ）、1音（ $\flat 2$ ）、1音半（ $\flat 3$ ）下げた状態にチューニングできます。



を回してフラットチューニングを設定します。



NOTE

チューナータイプがCHROMATICのときは、フラットチューニングはできません。

インパルス・レスポンス（IR）を使用する

インパルス・レスポンスとは、空間の音響特性をキャプチャしてデータ化したものです。

スピーカーキャビネットから出力されるギター音をマイクで収録した際の音響特性をキャプチャすることによって、様々なスピーカーキャビネットの特長がデータ化され、エフェクトとして使用することができます。スピーカーキャビネットから出力することなく、リアルなギターサウンドを再現することができます。

インパルス・レスポンス（IR）データを読み込む

お手持ちのインパルス・レスポンスデータやサードパーティ製インパルス・レスポンスデータをiOS/iPadOSアプリケーション「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」を使って読み込みます。（→[iPhone/iPadからMS-80IR+を操作する](#)）



NOTE

以下の形式のインパルス・レスポンスデータが読み込み可能です。



- 形式：WAV
- サンプリング周波数：44.1 kHz～192 kHz

インパルス・レスポンス（IR）を使用する







パッチメモリーにインパルス・レスポンスを割り当てます。

1. ホーム画面で  /  を押して、IRを使用したいパッチメモリーを選択する（→[パッチメモリーを切り替える](#)）

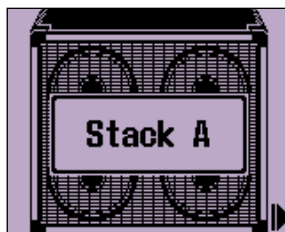


2.  /  を押して、スタジオアンビエンスを選択する



3.  を押してLIBRARY画面を表示し、 /  /  /  を押してIRを選択し、 を押す
(→エフェクトを変更する)

IRはLIBRARY画面の左端にあります。
IRがパッチメモリーに追加されます。



NOTE

- IRカスタジオアンビエンスのどちらかを、1つのパッチメモリー中に1つだけ選択できます。
- IRを選択中はアンプモデリングのキャビネットはバイパスされます。

オーディオインターフェース機能を使用する

MS-80IR+は2in2outのオーディオインターフェースとして動作します。

MS-80IR+からは、エフェクト処理後の2チャンネルのオーディオ信号をパソコンやスマートフォンに送ります。パソコンやスマートフォンからは、エフェクト処理後の位置に2チャンネルのオーディオ信号を入力します。入出力の位置については[信号の流れ](#)を参照してください。

ドライバをインストールする

Windows

1. zoomcorp.com からパソコンに「MS-80IR+ Driver」をダウンロードする

NOTE

最新の「MS-80IR+ Driver」は上記WEBサイトからダウンロードできます。

2. インストーラーを起動して、ドライバをインストールする指示に従って「MS-80IR+ Driver」をインストールします

NOTE

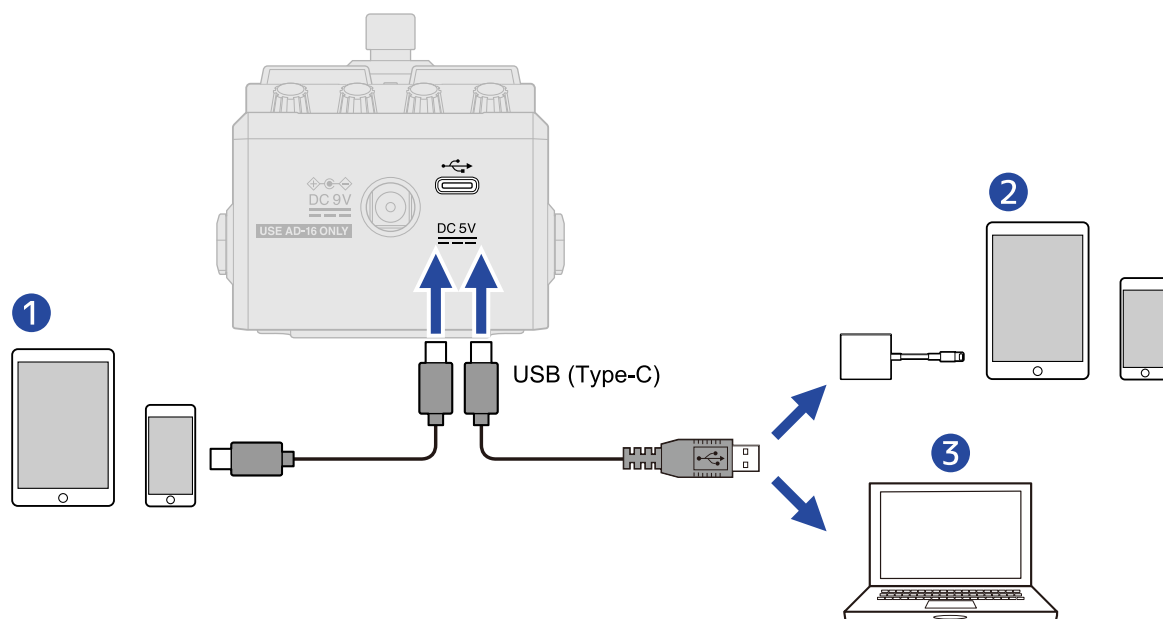
詳細なインストール手順については、ドライバパッケージに同封されている「InstallationGuide」を参照してください。

Macまたはスマートフォン/タブレット

Macまたはスマートフォン／タブレットで使用する場合、ドライバは必要ありません。

パソコンまたはスマートフォン/タブレットと接続する

1. MS-80IR+とパソコンまたはスマートフォン/タブレットをUSBケーブルで接続する



- 1 スマートフォン/タブレット (Android)
- 2 スマートフォン/タブレット (iOS/iPadOS)
- 3 パソコン (Windows/Mac)

NOTE

- データ転送に対応したUSB (Type-C) のUSBケーブルをご使用ください。
- Lightningコネクタを搭載したiOS/iPadOSデバイスと接続するには、Lightning - USB 3カメラアダプタが必要です。

2. MS-80IR+の電源をONにする (→[電源をON/OFFする](#))

スマートフォン/タブレットに接続されます。

パソコンの場合は、手順3に進んでください。

3. パソコンの場合は、サウンドデバイスにZOOM MS Plus Seriesを設定する

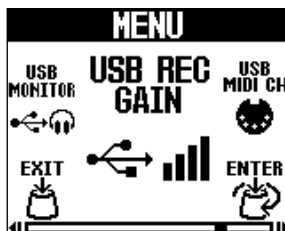
HINT

お手持ちのDAWソフトで録音するほか、スマートフォンで再生した音とMS-80IR+の音をミックスして演奏を楽しむこともできます。

USB AUDIOでパソコンへ送る音量を調節する

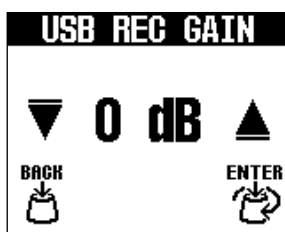
パソコンまたはスマートフォン／タブレットへ送る音量（録音レベル）の調節ができます。

1. MENU画面で「USB REC GAIN」を選択する



2. ENTER を回して、録音レベルを調節する

設定値はディスプレイに表示されます。



3. ENTER を押す

設定を確定します。

4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

HINT

設定範囲は-15 dB ~ +15 dB です。

USB AUDIOのモニターバランスを調節する

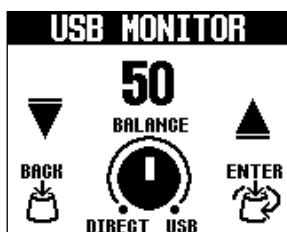
パソコンまたはスマートフォン／タブレットからの出力信号と、ダイレクト信号（MS-80IR+の音声）のバランスを調節します。

1. MENU画面で「USB MONITOR」を選択する



2. ENTER を回して、モニターバランスを調節する

設定値はディスプレイに表示されます。



3. ENTER を押す

設定を確定します。

4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

HINT

- 設定範囲は0～100です。「0」でダイレクト信号のみ、「100」でパソコンまたはスマートフォン／タブレットからの出力信号のみとなります。
 - 設定は起動時に「50」にリセットされます。
-

iPhone/iPadからMS-80IR+を操作する

iOS/iPadOSアプリケーション「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」を使って、iPhone/iPadからMS-80IR+を操作できます。

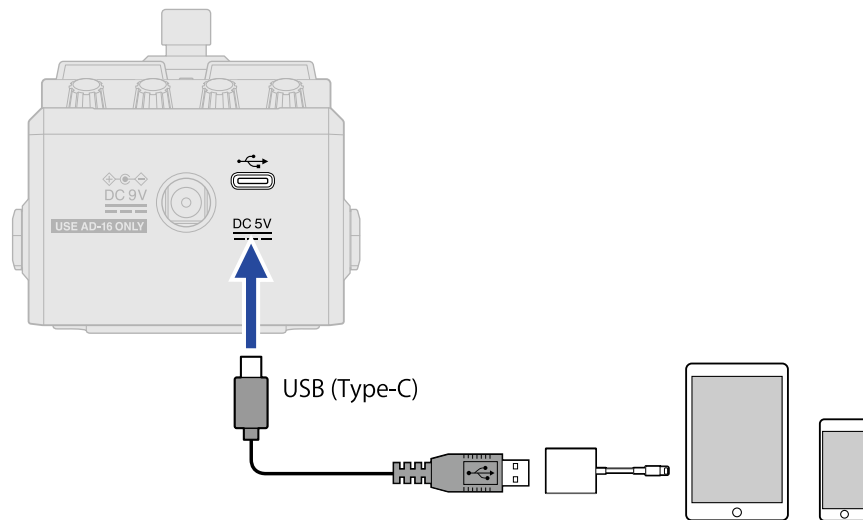
NOTE

あらかじめ専用アプリ「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」をiPhone/iPadにインストールしておく必要があります。専用アプリ「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」はApp Storeからダウンロードできます。アプリでの設定や操作の方法については、専用アプリ「Handy Guitar Lab for MS-80IR+」の取扱説明書を参照してください。

1. MS-80IR+を起動する

- 電池を使用している場合は、入力端子（L/MONO）にケーブルを接続してください。
- ACアダプターを使用している場合は、USBケーブルでiPhone/iPadと接続すると起動します。

2. MS-80IR+とiPhone/iPadをUSBケーブルで接続する

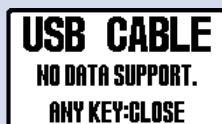




NOTE

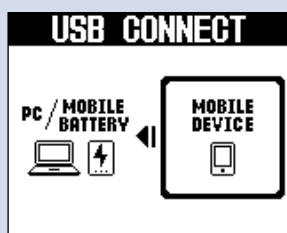
- データ転送に対応したUSB（Type-C）のUSBケーブルをご使用ください。MS-80IR+に接続すると以下画面が表示されます。



データ転送に対応していないケーブルを使用した場合は以下画面が表示されますので、データ転送に対応したケーブルに差し替えてください。



- Lightningコネクタを搭載したiOS/iPadOSデバイスと接続するには、Lightning - USB 3カメラアダプタが必要です。
- 電池を使用している場合は、USB CONNECT画面が表示されます。  を回して接続先に「MOBILE DEVICE」を選択し、  を押してください。



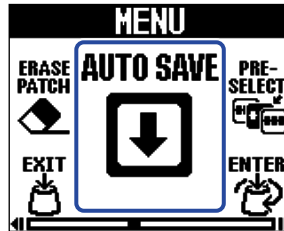
3. iPhone/iPad上で、Handy Guitar Lab for MS-80IR+を起動する

本体の設定をする

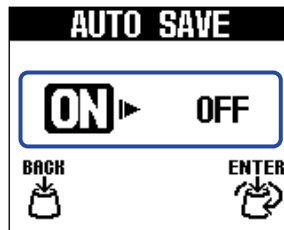
オートセーブを設定する

オートセーブ機能をONにすると、パッチメモリーの内容を変更したときに自動で保存することができます。

1. MENU画面で「AUTO SAVE」を選択する



2. **ENTER** を回して、ON/OFF を切り替える



設定	説明
ON	オートセーブ機能をONにします。
OFF	オートセーブ機能をOFFにします。

3. **ENTER** を押す
設定を確定します。

4. **EXIT** を押す
ホーム画面に戻ります。

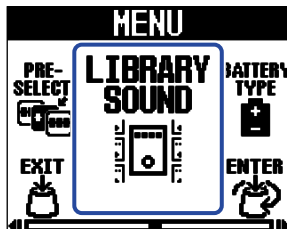
HINT

オートセーブ機能をOFFにした場合はパッチメモリーは自動で保存されません。
必要に応じて保存してください。(→ パッチメモリーをコピー／保存する)

LIBRARY画面での音を設定する

LIBRARY画面で確認できる音を変更できます。

1. MENU画面で「LIBRARY SOUND」を選択する



2. ENTER を回して、設定を切り替える



設定	説明
SINGLE EFFECT SOUND	選択しているエフェクトの音のみを確認することができます。
PATCH MEMORY SOUND	パッチメモリ全体の音を確認することができます。

3. ENTER を押す

設定を確定します。

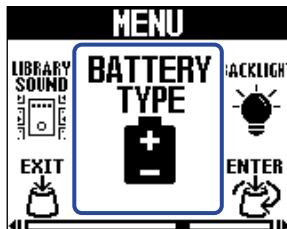
4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

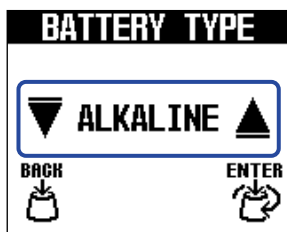
電池の種類を設定する

電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく選択してください。

1. MENU画面で「BATTERY TYPE」を選択する



2. ENTER を回して、電池の種類を選択する



設定	説明
ALKALINE	アルカリ電池
Ni-MH	ニッケル水素蓄電池
LITHIUM	リチウム乾電池

3. ENTER を押す

設定を確定します。

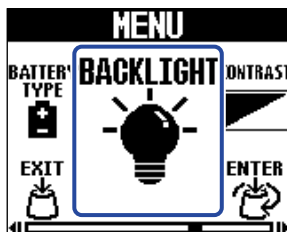
4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

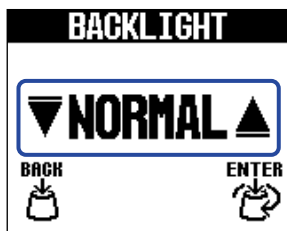
バックライトの明るさを調節する

バックライトの明るさを調節することができます。電池を長持ちさせたい場合は、「NORMAL」を選択してください。

1. MENU画面で「BACK LIGHT」を選択する



2. ENTER を回して、バックライトの明るさを調節する



設定	説明
NORMAL	通常の明るさです。
BRIGHT	バックライトが明るくなります。

3. ENTER を押す

設定を確定します。

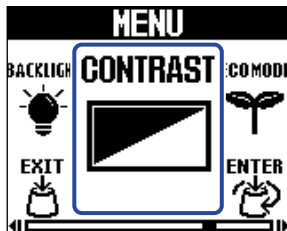
4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

ディスプレイのコントラストを調節する

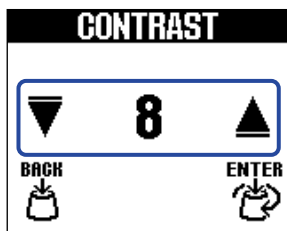
ディスプレイのコントラストを調節します。

1. MENU画面で「CONTRAST」を選択する



2. ENTER を回して、ディスプレイのコントラストを調節する

設定値はディスプレイに表示されます。



3. ENTER を押す

設定を確認します。

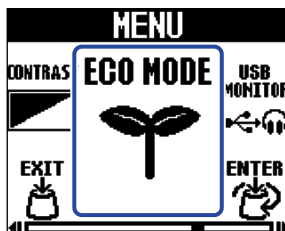
4. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

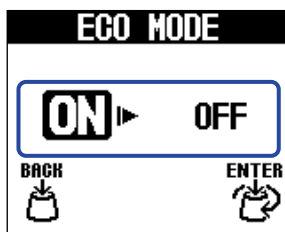
ECO モードを設定する

操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れるように設定します。

1. MENU画面で「ECO MODE」を選択する



2. ENTER を回して、ON/OFFを切り替える



設定	説明
ON	操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。
OFF	ECOモードを無効にします。

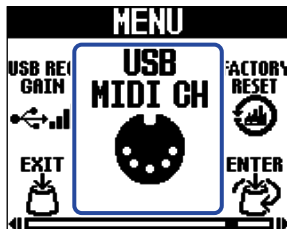
3. ENTER を押す 設定を確定します。

4. EXIT を押す ホーム画面に戻ります。

USB MIDIを受信するチャンネルを設定する

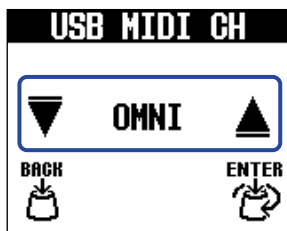
MS-80IR+はUSB MIDIのプログラムチェンジに対応しており、受信するチャンネルを設定することができます。

1. MENU画面で「USB MIDI CH」を選択する



2. ENTER を回して、設定を切り替える

「OMNI」に設定すると、すべてのチャンネルを受信します。



3. ENTER を押す

設定を確認します。

4. EXIT を押す

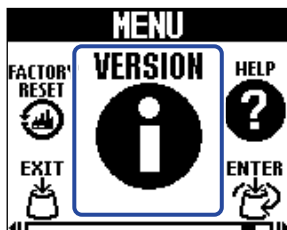
ホーム画面に戻ります。

ファームウェアを管理する

ファームウェアのバージョンを確認する

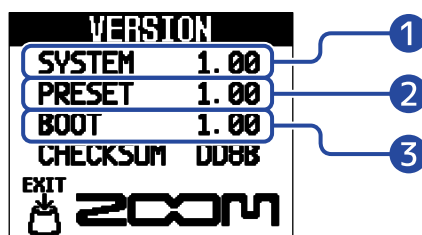
MS-80IR+のファームウェアのバージョンを確認することができます。

1. MENU画面で「VERSION」を選択する



2. VERSION画面でバージョンを確認する

ファームウェアやプリセットのバージョンが表示されます。



① MS-80IR+のファームウェアバージョン

② プリセットのバージョン

③ BOOTのバージョン

3. EXIT を押す

ホーム画面に戻ります。

ファームウェアをアップデートする

MS-80IR+のファームウェアを、最新のものにアップデートできます。

最新のファームウェアはZOOMのWebサイト (zoomcorp.com/help/ms-80irplus) からダウンロードできます。

工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. MENU画面で「FACTORY RESET」を選択する



2. **ENTER** を回して、「YES」を選択する



3. **ENTER** を押す

初期化が実行され工場出荷時の設定に書き換えられます。



NOTE

初期化を実行すると、パッチメモリーを含むすべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

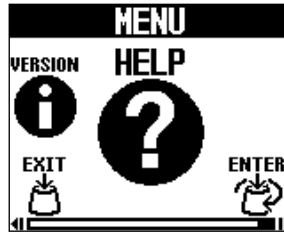
HINT

初期化をキャンセルするには、手順2で「NO」を選択します。

MS-80IR+の最新情報を確認する

MS-80IR+のディスプレイ上に、製品に関するヘルプの2次元コードを表示することができます。

1. MENU画面で「HELP」を選択する



2. HELP画面上に表示された2次元コードをスマートフォン/タブレットなどで読み取る。



zoomcorp.com/help/ms-80irplus

3. **EXIT** を押す

ホーム画面に戻ります。

付録

故障かな？と思う前に

電源が入らない

- 電池駆動時は、入力端子 (L/MONO) にケーブルを接続する。 (→[電源をON/OFF する](#))
- 接続を確認する。 (→[接続する](#))
- ON/OFFインジケータが点滅して起動しない場合は、ファームウェアをアップデートする。 (→[ファームウェアをアップデートする](#))

音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認する。 (→[接続する](#))
- 各エフェクトのレベルを調節する。 (→[エフェクトのパラメーターを調節する](#))
- アウトプットボリュームを調節する。 (→[全体の出力レベルを調節する](#))
- チューナーのアウトプットが“MUTE” になっていないことを確認する。 (→[出力方法を設定する](#))

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ZOOM純正のACアダプターを使用する。 (→[接続する](#))

電池の消耗が早い

以下の設定を行うことで、電池動作時間を長くできる場合があります。

- 使用する電池の種類を適切に設定する。 (→[電池の種類を設定する](#))
- ディスプレイのバックライトを「NORMAL」にする。 (→[バックライトの明るさを調節する](#))
- 一般的な特性として、消費電力が大きい設定の場合、ニッケル水素充電電池（大容量を推奨）、リチウム乾電池の方がアルカリ電池よりも長時間使用できます。

DAWに録音される音量が小さい

- 録音レベルの設定値を確認する。 (→[USB AUDIOでパソコンへ送る音量を調節する](#))

出力端子(R)の音が不自然

- R OUT POSITIONの設定を確認してください。 (→[Rチャンネル出力信号の取り出し位置を変更する](#))

仕様

同時使用エフェクト数		AMPLIFIER + STUDIO AMBIENCE + 1 EFFECT
パッチメモリーユーザーエリア		80
サンプリング周波数		44.1 kHz
A/D 変換		24-bit 128倍オーバーサンプリング
D/A 変換		24-bit 128倍オーバーサンプリング
信号処理		32-bit
周波数特性		20 Hz ~ 20 kHz (+ 0.5 dB / - 0.5 dB) (10 kΩ負荷時)
ディスプレイ		ドットマトリクスLCD (160 x 128 dot)
入力	L/R	標準モノラルフォンジャック 定格入力レベル：-20 dBu 入力インピーダンス (ライン) ： 470 kΩ
出力	L/MONO/PHONES	標準ステレオフォンジャック (ライン/ヘッドフォン兼用) 最大出力レベル：+7.2 dBu (出力負荷インピーダンス10 kΩ以上時) 最大出力電力：20 mW + 20 mW (負荷 32 Ω時)
	R	標準モノラルフォンジャック 最大出力レベル：+7.2 dBu (出力負荷インピーダンス10 kΩ以上時)
入力S/N		122 dB
ノイズフロア (残留ノイズ)	L/R	-100 dBu
電源		ACアダプター DC9 V センターマイナス、500 mA (ZOOM AD-16) 単三電池2本動作 (アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池)
電池使用時の動作時間の目安	※値はあくまで目安です。 ※電池動作時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変わります。	アルカリ乾電池：約3.5時間 (ステレオ入力：約3時間) ニッケル水素蓄電池 (1900 mAh)：約4時間 (ステレオ入力：約3.5時間) リチウム乾電池：約7.5時間 (ステレオ入力：約6.5時間)
USB		端子：USB2.0 Type-C / 対応ケーブル：Type-C ケーブル Handy Guitar Lab：USB1.1 Full Speed オーディオインターフェース：USB2.0 Full Speed、44.1 kHz、32-bit、2in 2out ※データ転送に対応したUSB ケーブルを使用してください。USB バスパワー動作対応。
外形寸法		133 mm (D) x 79 mm (W) x 61 mm (H)

質量

369 g (電池を除く)

416 g (電池含む)

※ 0 dBu = 0.775 V

MIDIインプリメンテーションチャート

[MultiStomp]

Model : MS-80IR+

Date : June. 1, 2024

Version :1.00

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	x x	1 - 16 1 - 16	Memorized
Mode	Default Message Altered	x x *****	x x *****	
Note Number	True Voice	x *****	x *****	
Velocity	Note ON Note OFF	x x	x x	
After Touch	Keys Ch's	x x	x x	
Pitch Bend		x	x	
Control Change		x	x	
Program Change	True Number	x *****	o 0 - 80 0 - 80	
System Exclusive		x	x	
System Common	Song Position Song Select Tune Request	x x x	x x x	
System Real Time	Clock Commands	x x	x x	
Aux Messages	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense System Reset	x x x x	x x x x	
Notes				

Mode 1 : OMNI ON, POLY
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
x : No

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3

zoomcorp.com